

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-99	中学校	社 会	歴 史	1・2・3年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
116 日文	歴史 733	中学社会 歴史的分野		

1. 編修の趣旨及び留意点

教育基本法ならびに学校教育法の趣旨をふまえるとともに、中学校学習指導要領第1章 総則および第2章第2節社会〔歴史的分野〕に示された趣旨や目標、内容を基準にして、生徒たちが学習内容を確実に身につけ、意欲的に楽しく歴史的分野の学習を進められることをめざして編修しました。

また、歴史的事象に関する関心を高め、それを多面的・多角的に考察できるように留意しました。そして、我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考え、我が国の歴史に対する理解と愛情を深めるとともに、その発展に寄与する態度を育てることができる教材を選定しました。

2. 編修の基本方針

教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するために、特に次の点に意を用いて編修しました。

- ① 我が国の歴史に関する基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得し、歴史的事象を多面的・多角的に考察する態度を育てることで、幅広い知識と教養を身につけ、私たちの今と将来を明るく豊かなものとするために歴史に学ぶことができるようにする。
- ② 意欲的に学習に取り組めるように、学習のねらいを明確にし、思考力・判断力・表現力の向上を図りながら、学習の成果を実感できる構成にするとともに、職業および生活と歴史との関わりを知り、勤労を重んずる態度を育てることができるようにする。
- ③ 人権尊重、男女平等などに関わる歴史的事象を豊富に取り上げるとともに、協働して取り組む学習活動の場面では、責任をもって自分の考えを伝え、他者の考えを認め、他者を敬う態度を身につけられるようにするとともに、社会の一員としての自覚を培えるようにする。
- ④ 防災・減災、資源・環境、平和や命の尊さなどに関わる先人の働きを積極的に取り上げ、歴史に学び、そこから自分たちの生き方に生かしていく態度や、生命や自然を大切にする態度を育てることができるようにする。
- ⑤ 我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考え、国際理解を深めることができる内容を豊富に取り上げ、自分たちの住む身近な地域や我が国を愛する心、他国を尊重する態度を育てることができるようにする。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	<ul style="list-style-type: none"> ・「歴史との出会い」として、我が国の貴重な文化財や世界遺産などを、それらに対する興味・関心を喚起する問いかけとともに提示して、歴史を学ぶことができる様々な機会を紹介しました。(第1号, 第5号) 	P. II～III
	<ul style="list-style-type: none"> ・「歴史を学ぶにあたって」では、小学校の歴史学習とのちがいなどから、中学校の歴史学習で学んで欲しいことを明らかにするとともに、歴史を学ぶ意味や意義を伝え、学習意欲を高めることができるようにしました。(第1～5号) 	P. 1
第1編 歴史のとらえ方	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で学んだことをふり返る具体的な学習活動の事例を通して、歴史の学び方を学ぶことができるようにしました。また、年代のあらわし方や時代区分、中学校の歴史学習のポイントなどを示し、生徒が小学校の歴史学習をふまえるとともに、中学校の歴史学習の特色を理解しながら各時代の学習に取り組んでいけるように配慮しました。(第1号) 	P. 6～13
第2編 古代までの日本	<ul style="list-style-type: none"> ・「とらえよう！時代の転換」や「とらえよう！『古代までの日本』の特色」では、時代の転換や特色について考え、自分の言葉で表現する学習活動を提示し、他者の考えを認め、そこから自分の考えを発展させることができるようにしました。(第2号, 第3号) 	P. 44～45 P. 56～57
	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本の食生活のルーツ」として、和食をテーマとした特設ページ「先人に学ぶ」を設けました。(第5号) 	P. 30～31
	<ul style="list-style-type: none"> ・古代までの各時代の文化の学習では、その文化の特色を当時の社会のようすと関連させて理解するとともに、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えることができるようにしました。(第5号) 	P. 37 P. 46～47 P. 49 P. 51
	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の歴史を調べる具体的な学習活動を提示し、地域の歴史に対する興味・関心を高めるとともに、歴史の調べ方・学び方を習得し、地域を大切にする態度を育む特設ページ「でかけよう！地域調べ」〔平城宮跡〕を設けました。(第1号, 第2号, 第5号) 	P. 54～55
第3編 中世の日本	<ul style="list-style-type: none"> ・「とらえよう！時代の転換」や「とらえよう！『中世の日本』の特色」では、時代の転換や特色について考え、自分の言葉で表現する学習活動を提示し、他者の考えを認め、そこから自分の考えを発展させることができるようにしました。(第2号, 第3号) 	P. 66～67 P. 94～95
	<ul style="list-style-type: none"> ・中世の各時代の文化の学習では、その文化の特色を当時の社会のようすと関連させて理解するとともに、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えることができるようにしました。(第5号) 	P. 70～71 P. 86～87 P. 88～89

	<ul style="list-style-type: none"> ・「伝統と文化」をテーマとした特設ページ「先人に学ぶ」〔東大寺の再興と重源〕を設けました。(第5号) 	P. 76
	<ul style="list-style-type: none"> ・「女性史」をテーマとした特設ページ「歴史を掘り下げる」〔中世の女性たち〕を設けました。(第3号) 	P. 90
	<ul style="list-style-type: none"> ・「防災・減災」をテーマとした特設ページ「先人に学ぶ」〔信玄堤〕を設けました。(第4号) 	P. 91
	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の歴史を調べる具体的な学習活動を提示し、地域の歴史に対する興味・関心を高めるとともに、歴史の調べ方・学び方を習得し、地域を大切にすることを育む特設ページ「でかけよう！地域調べ」〔草戸千軒町遺跡〕を設けました。(第1号, 第2号, 第5号) 	P. 92～93
第4編 近世の日本	<ul style="list-style-type: none"> ・「とらえよう！時代の転換」や「とらえよう！『近世の日本』の特色」では、時代の転換や特色について考え、自分の言葉で表現する学習活動を提示し、他者の考えを認め、そこから自分の考えを発展させることができるようにしました。(第2号, 第3号) 	P. 126～127 P. 144～145
	<ul style="list-style-type: none"> ・近世の各時代の文化の学習では、その文化の特色を当時の社会のようすと関連させて理解するとともに、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えることができるようにしました。(第5号) 	P. 112～113 P. 132～133 P. 138～139
	<ul style="list-style-type: none"> ・「資源・環境」をテーマとした特設ページ「先人に学ぶ」〔幕府のはげ山対策と都市に住む人々のリサイクル〕を設けました。(第4号) 	P. 140～141
	<ul style="list-style-type: none"> ・現在まで残されてきた貴重な文化財の保存・修理の取り組みや、災害発生時の文化財レスキュー活動を紹介する特設ページ「歴史を掘り下げる」を設けました。(第2号, 第3号, 第5号) 	P. 142～143
	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の歴史を調べる具体的な学習活動を提示し、地域の歴史に対する興味・関心を高めるとともに、歴史の調べ方・学び方を習得し、地域を大切にすることを育む特設ページ「でかけよう！地域調べ」〔城下町姫路〕を設けました。(第1号, 第2号, 第5号) 	P. 114～115
第5編 近代の日本と世界 第1章 日本の近代化	<ul style="list-style-type: none"> ・身分制社会から新しい世の中をめざして行動を起こした人々をテーマとした特設ページ「歴史を掘り下げる」を設けました。(第3号) 	P. 164～165
	<ul style="list-style-type: none"> ・近代の各時代の文化の学習では、その文化の特色を当時の社会のようすと関連させて理解するとともに、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えることができるようにしました。(第5号) 	P. 170～171 P. 172～173 P. 198～199
	<ul style="list-style-type: none"> ・「とらえよう！時代の転換」や「とらえよう！『日本の近代化』の特色」では、時代の転換や特色について考え、自分の言葉で表現する学習活動を提示し、他者の考えを認め、そこから自分の考えを発展させることができるようにしました。(第2号, 第3号) 	P. 174～175 P. 202～203

	・「伝統と文化」をテーマとした特設ページ「先人に学ぶ」〔岡倉天心とフェノロサ〕を設けました。(第5号)	P. 180
	・身近な地域の歴史を調べる具体的な学習活動を提示し、地域の歴史に対する興味・関心を高めるとともに、歴史の調べ方・学び方を習得し、地域を大切にすることを育む特設ページ「でかけよう！地域調べ」〔富岡製糸場〕を設けました。(第1号, 第2号, 第5号)	P. 181
	・産業の発展を学ぶ際には、常に環境に影響が及ぶという視点をもたせることに留意し、環境保全に寄与することの大切さを学ぶことができるコラム「近代史+α」〔足尾鉍毒事件〕を設けました。(第4号)	P. 197
	・「命の尊さ」をテーマとした特設ページ「先人に学ぶ」〔エルトゥール号遭難事件〕を設けました。(第4号, 第5号)	P. 200
	・近代産業を支えた人々の記録である「山本作兵衛の炭坑記録画」を取り上げた特設ページ「歴史を掘り下げる」を設けました。(第2号)	P. 201
第5編 近代の日本と世界 第2章 二度の世界大戦と日本	・近代の文化の学習では、その文化の特色を当時の社会のようすと関連させて理解するとともに、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えることができるようにしました。(第5号)	P. 218～219
	・「伝統と文化」をテーマとした特設ページ「歴史を掘り下げる」〔よみがえった東京駅〕を設けました。(第5号)	P. 220～221
	・「国際平和や命の尊さ」をテーマにした特設ページ「先人に学ぶ」〔新渡戸稲造と杉原千畝〕を設けました。(第4号, 第5号)	P. 238
	・「とらえよう！『二度の世界大戦と日本』の特色」では、時代の特色について考え、自分の言葉で表現する学習活動を提示し、他者の考えを認め、そこから自分の考えを発展させることができるようにしました。(第2号, 第3号)	P. 242～243
	・身近な地域の歴史を調べる具体的な学習活動を提示し、地域の歴史に対する興味・関心を高めるとともに、歴史の調べ方・学び方を習得し、地域を大切にすることを育む特設ページ「でかけよう！地域調べ」〔大阪の戦争遺跡〕を設けました。(第1号, 第2号, 第5号)	P. 240～241
第6編 現代の日本と世界	・「とらえよう！時代の転換」や「とらえよう！『現代の日本と世界』の特色」では、時代の転換や特色について考え、自分の言葉で表現する学習活動を提示し、他者の考えを認め、そこから自分の考えを発展させることができるようにしました。(第2号, 第3号)	P. 254～255 P. 278～279
	・産業の発展を学ぶ際には、常に環境に影響が及ぶという視点をもたせることに留意し、環境保全に寄与することの大切さを学ぶことができるようにしました。(第4号)	P. 260～261

	<ul style="list-style-type: none"> ・「アイヌと沖縄」の近代と現代をテーマとした特設ページ「歴史を掘り下げる」を設けました。(第3号) 	P. 272～273
	<ul style="list-style-type: none"> ・「防災・減災」をテーマとした特設ページ「先人に学ぶ」〔災害の歴史に学び、私たちの未来に活かす〕を設けました。(第4号) 	P. 274～275
	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の歴史を調べる具体的な学習活動を提示し、地域の歴史に対する興味・関心を高めるとともに、歴史の調べ方・学び方を習得し、地域を大切にすることを育む特設ページ「でかけよう！地域調べ」〔北九州市の公害克服の歴史〕を設けました。(第1号, 第2号, 第5号) 	P. 276～277
巻末	<ul style="list-style-type: none"> ・「歴史を学んで」では、歴史を学んで得た豊かな知識と思考の方法を生かして、これからも平等で平和な社会を築いていくことの重要性を、生徒一人一人が自覚できるようにしました。(第1～5号) 	P. 280
	<ul style="list-style-type: none"> ・「歴史学習の基礎資料」では、歴史の学習を進める際に役立つ「五穀と四木三草」「仏像の種類」「絵画資料の見方」「文化財の種類」「干支」「江戸時代の時刻と二十四節気」について解説しました。(第5号) 	P. 281～285
	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「歴史との出会い」に対応するページとなる「歴史との出会い Q & A」を設けて、巻頭で提示した問いかけの答えや、各時代の学習とのつながりを示し、文化財等の重要性について解説するほか、これからの歴史学習への動機づけをしました。(第1号, 第5号) 	P. 287
	<ul style="list-style-type: none"> ・「折込年表」では、日本の世界文化遺産を、対応する年代の場所に位置づけて紹介しました。(第5号) 	P. ※2, ※3, ※6, ※7
教科書全体	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書全体を通して、我が国が古くから諸外国と盛んに交流し、お互いに影響し合いながら現代にいたっていることを知り、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を育てようとしてしました。(第5号) 	全単元

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

【特別支援教育・カラーユニバーサルデザイン、防災・安全教育への配慮】

特別支援教育・カラーユニバーサルデザインの観点で専門家の校閲を受け、ルビはすべて読みやすいゴシック体にするほか、図版中の配色や体裁にいたるまで、カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面にしました。また、防災・安全教育に関する教材は、専門家に校閲いただいています。

【環境などへの配慮】

環境などへの影響が少ない植物性インキと再生紙を使用しています。本文用紙は、光沢をやわらげて目に優しく、大判化に伴う重量増をおさえる軽い紙を採用しました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-99	中学校	社 会	歴 史	1・2・3年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
116 日文	歴史 733	中学社会 歴史的分野		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

I 編修の基本方針

生徒の確かな成長と人間尊重・平和な社会の実現を願い、我が国の歴史を正しく理解することを通して、未来を担う生徒たちの糧となり、自分たちの生き方に生かしていけることをめざしました。



- 1 各時代の特色を確実にとらえ、歴史の大きな流れを理解できる教科書
- 2 歴史について生徒が考え、判断し、表現する学習を重視した教科書
- 3 今日的課題の歴史的な背景や、地域・先人に学ぶことを重視した教科書
- 4 歴史を学ぶ楽しさを伝え、生徒の学習をしっかりと支える教科書

II 編修上の留意点と特色

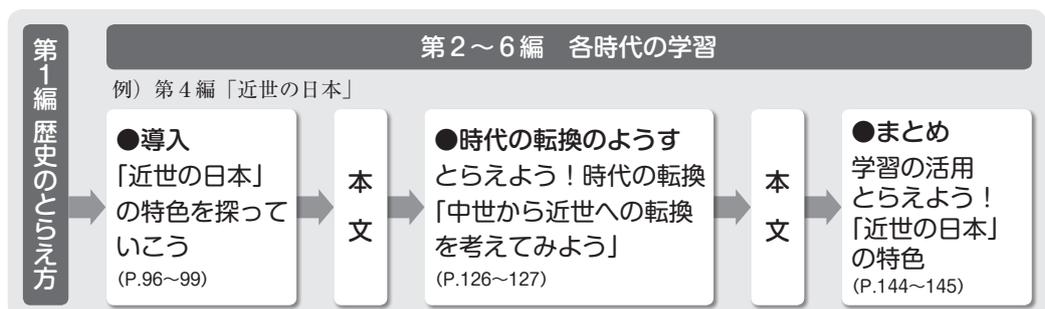
1 構成上の特色

各時代の特色を確実にとらえ、歴史の大きな流れを理解できる構成にしています

●「時代の特色」をとらえる各編・章の基本構成

各時代の学習では、学習のねらいを定め、意欲をもって学習に取り組むことができるように「導入」を充実させました。「本文」は十分な文字量を確保して、平易な表現で歴史の流れや因果関係を丁寧に叙述しました。また、各時代の前半部分に「時代の転換のようす」をとらえる学習活動を置き、「導入」に対応する「まとめ」の部分では、習得した知識を活用して時代の特色をとらえることをねらいとした学習活動を設けました。

こうした構成で各時代の学習をくり返すことで、各時代の特色をふまえながら、我が国の歴史の大きな流れを確実に理解できるようにしています。



歴史について生徒が考え、判断し、表現する学習を重視しています

- 「歴史について考察する力や説明する力」を育む学習活動の設定
生徒が学習したことを活用しながら、「時代の転換のようす」や「時代の特色」について考え、判断し、自分の言葉で表現することを促す学習活動を各時代に配置しました。この学習活動に取り組むことによって、各時代の特色の理解をいっそう深めることができます。



古代までP.44～45, 中世P.66～67, 近世P.126～127, 近代P.174～175, 現代P.254～255

古代までP.56～57, 中世P.94～95, 近世P.144～145, 近代P.202～203, 242～243, 現代P.278～279

2 内容上の特色

今日的課題の歴史的な背景や、地域・先人に学ぶことを重視し、豊かな教材を取り上げています

- 今日的課題の歴史的背景などを考えることができる豊かな教材
本文の学習はもちろん、特設ページ「歴史を掘り下げる」や「先人に学ぶ」などでは、歴史の学習をはば広く豊かにするテーマを取り上げ、今日的課題の歴史的背景を詳しく解説したり、生活の向上や文化の発展などに取り組んだ先人の姿を積極的に取り上げたりして、歴史に学び、そこから自分たちの生き方に生かしていく態度を育てることができるようになりました。



主な観点	主な内容
人権	河原者がつくり出した文化 (P.87), 中世の女性たち (P.90), 豊かになる人々と身分制のひきしめ (P.135), 移民の国アメリカ (P.155), 新しい世の中をめざした人々 (P.164～165), アイヌと沖縄の近代と現代 (P.272～273) など
資源・環境	幕府のはげ山対策と都市に住む人々のリサイクル (P.140～141), 足尾鉍毒事件 (P.197), 公害克服の歴史を調べる (P.276～277)
平和・命の尊さ	エルトゥール号遭難事件 (P.200), 日本の満州支配に反対したジャーナリスト (P.227), 新渡戸稲造と杉原千畝 (P.238), 戦争遺跡: 大阪の空襲を調べる (P.240～241), シベリア抑留と中国残留孤児 (P.253), 平和記念都市建設と原水爆禁止運動 (P.257) など
防災・減災	信玄堤 (P.91), 江戸の町火消 (P.125), 関東大震災 (P.219), 阪神・淡路大震災と東日本大震災 (P.269～271), 災害の歴史に学び, 私たちの未来に活かす (P.274～275) など
伝統と文化	歴史との出会い, Q & A (P.Ⅱ～Ⅲ, P.287), 東大寺の再興と重源 (P.76), 文化財を守り伝える仕事-九州国立博物館の取り組み (P.142～143), 岡倉天心とフェノロサ (P.180), 近代化遺産・世界文化遺産: 富岡製糸場を調べる (P.181), 山本作兵衛の炭坑記録画〔ユネスコ記憶遺産〕 (P.201), 近代化産業遺産: よみがえった東京駅, トヨタ産業技術記念館 (P.220～221), 仏像の種類 (P.282), 絵画資料の見方 (P.283), 文化財の種類 (P.284), 日本の世界遺産 (巻末年表※2, 3, 6, 7) など

●日本の歴史の背景となる世界史の充実

世界の古代文明 (P.20～23) や宗教のおこり (P.24～25), イスラム教の世界の発展 (P.100) など, 世界史の教材を充実させました。また, 全単元を通じて, 世界, 特に東アジアのなかで日本史をとらえ, 広い視野をもって多面的・多角的に歴史をとらえることができる構成にしています。

●「中学校学習指導要領解説 社会編」の一部改訂に対応した教材の充実

現代史+α「韓国・中国との国交正常化と現在の課題」(P.265) を設けて, 「我が国が国際法上正当な根拠に基づき竹島, 尖閣諸島を正式に領土に編入した経緯」について, わかりやすく解説しました。また, 特設ページ「近代的な国際秩序への参加」(P.178～179) を設けて, 幕末から明治以降, 日本がそれまでの伝統的な東アジア世界の国際秩序から, 新しい近代的な国際秩序へと移行する過程を具体的に示し, 近代国家の領土の画定について深く掘り下げています。

小学校や他分野などとの連携を重視しています

●小学校の歴史学習や他分野などとの連携を重視

第1編「歴史のとらえ方」(P.6～13) や, 各時代の「導入」にある年表 (P.16, 60, 98, 148など) において, 小学校の歴史学習で学んだ人物・文化遺産などを再確認できるようにし, 既習事項をふまえて, スムーズに中学校の学習に移行することをめざしました。また, 本文ページの脚注欄 (P.20, 28, 68, 270など) に連携コーナー [➡] を設けて, 小学校社会科・地理的分野・公民的分野・地図帳への関連もわかりやすく示しました。

3 紙面上の特色

歴史を学ぶ楽しさを伝え, 生徒の学習をしっかりと支えるように紙面を工夫しています

●時代像を具体的にイメージできる図版を豊富に掲載

各時代のくらしのようすなどは, 古代・中世・近世・近代・現代の各時代に図版特集を設け, 大判紙面を生かしてビジュアルに示しています。

図版特集

奈良時代のくらし (P.42～43), 江戸の町のようす (P.124～125), 高度経済成長期のくらし (P.262～263) など

文化財の大きさを生徒と比較して示したり (P.70の③東大寺南大門の金剛力士像の大きさ, P.112の①唐獅子図屏風の大きさなど), 実物大で掲載 (P.26の④岩宿で発見された打製石器など) したりして, 図版の教材としての価値を高めるとともに, 資料を読み取る学習の楽しさを伝え, 資料活用能力の向上を図るようになりました。

●新たな発掘成果や, 史跡・文化財・人物の積極的な紹介

海底から姿を現した元の軍船 (P.77)・富岡製糸場 (P.181)・東京駅 (P.220～221) など, その時代を実感できる史跡・文化財のほか, 天皇や太政官の仕事 (P.43) やエルトゥール号遭難事件 (P.200) など, 歴史上の人物を生き生きとえがいて, 生徒の学習意欲を高め, 通史学習を豊かにしました。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
第1編 歴史のとらえ方 ※「歴史との出会い」「歴史を学ぶにあたって」を含む	(1)～(6)	P.Ⅱ～1 P.6～13	6
第2編 古代までの日本	(2)ア～ウ	P.14～57	18
「古代までの日本」の特色を探っていこう／地図で見る世界の動き	(2)ア～ウ	P.14～17	(1)
1 人類の始まりと文明	(2)ア	P.18～25	(4)
2 日本列島の人々と国家の形成	(2)ア～ウ	P.26～39	(6)
3 古代国家の展開 ※「とらえよう！時代の転換」の学習を含む	(1)イ, (2)イウ	P.40～55	(6)
とらえよう！「古代までの日本」の特色	(1)ウ, (2)ア～ウ	P.56～57	(1)
第3編 中世の日本	(3)アイ	P.58～95	13
「中世の日本」の特色を探っていこう／地図で見る世界の動き	(3)アイ	P.58～61	(1)
1 鎌倉幕府の成立 ※「とらえよう！時代の転換」の学習を含む	(3)アイ	P.62～77	(6)
2 室町幕府と下剋上	(1)イ, (3)アイ	P.78～93	(5)
とらえよう！「中世の日本」の特色	(1)ウ, (3)アイ	P.94～95	(1)
第4編 近世の日本	(4)ア～エ	P.96～145	18
「近世の日本」の特色を探っていこう／地図で見る世界の動き	(4)ア～エ	P.96～99	(1)
1 中世から近世へ	(1)イ, (4)ア	P.100～115	(6)
2 江戸幕府の成立と東アジア ※「とらえよう！時代の転換」の学習を含む	(4)イ	P.116～127	(5)
3 産業の発達と元禄文化	(4)ウ	P.128～133	(2)
4 幕府政治の改革と農村の変化	(4)ウエ	P.134～143	(3)
とらえよう！「近世の日本」の特色	(1)ウ, (4)ア～エ	P.144～145	(1)
第5編 近代の日本と世界 第1章 日本の近代化	(5)ア～エ	P.146～203	23
「日本の近代化」の特色を探っていこう／地図で見る世界の動き	(5)ア～エ	P.146～149	(1)
1 欧米の発展とアジアの植民地化	(5)ア	P.150～157	(4)
2 近世から近代へ	(5)イ	P.158～165	(3)
3 近代国家へのあゆみ ※「とらえよう！時代の転換」の学習を含む	(1)イ, (5)イ	P.166～181	(5)
4 立憲制国家の成立	(5)ウ	P.182～189	(4)
5 日清・日露の戦争と東アジアの動き	(5)ウ	P.190～195	(3)
6 近代日本の社会と文化	(5)エ	P.196～201	(2)
とらえよう！「日本の近代化」の特色	(1)ウ, (5)ア～エ	P.202～203	(1)
第5編 近代の日本と世界 第2章 二度の世界大戦と日本	(5)オカ	P.204～243	16
「二度の世界大戦と日本」の特色を探っていこう／ 地図で見る世界の動き	(5)オカ	P.204～207	(1)
1 第一次世界大戦と戦後の世界	(5)オ	P.208～213	(3)
2 大正デモクラシーの時代	(5)オ	P.214～221	(3)
3 世界恐慌と中国との戦争	(5)カ	P.222～229	(4)
4 第二次世界大戦と日本	(1)イ, (5)カ	P.230～241	(4)
とらえよう！「二度の世界大戦と日本」の特色	(1)ウ, (5)オカ	P.242～243	(1)
第6編 現代の日本と世界	(6)アイ	P.244～279	14
「現代の日本と世界」の特色を探っていこう／ 地図で見る世界の動き	(6)アイ	P.244～247	(1)
1 平和と民主化への動き ※「とらえよう！時代の転換」の学習を含む	(6)ア	P.248～259	(6)
2 国際化する世界と日本	(1)イ, (6)イ	P.260～277	(5)
とらえよう！「現代の日本と世界」の特色 ※「歴史を学んで」を含む	(1)ウ, (6)アイ (1)～(6)	P.278～280	(1) (1)
	(予備時間：22時間)	合計	108

※予備時間は、学校や生徒の実態に即して弾力的に扱っていただくための時間です。

※「でかけよう！地域調べ」(6時間配当)は、この予備時間を利用して実施することを想定しています。